

5 経営指標内容説明

経営指標	算 式
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100 \quad (\%)$
当座比率	$\frac{\text{当座資産}}{\text{流動負債}} \times 100 \quad (\%)$
手元流動性 比率	$\frac{\text{現金} + \text{預金}}{\text{総売上高 (受託 + 買付 + 兼業)} ※1} \times 365 \quad (\text{日})$
固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本}} \times 100 \quad (\%)$
総資本回転率	$\frac{\text{総売上高 (受託 + 買付 + 兼業)} ※1}{\text{期首総資本} + \text{期末総資本}} \times 2 \quad (\text{回})$
借入金比率	$\frac{\text{短期} + \text{長期借入金} \cdot \text{社債}}{\text{総資本}} \times 100 \quad (\%)$
金利負担率	$\frac{\text{支払利息割引料} - \text{受取利息配当金}}{\text{総売上高 (受託 + 買付 + 兼業)} ※1} \times 100 \quad (\%)$
自己資本比率	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}} \times 100 \quad (\%)$
商品回転期間	$\frac{\text{商品}}{\text{仕入高 (買付 + 兼業)}} \times 365 \quad (\text{日})$
売掛債権 回転期間	$\frac{\text{売掛金} + \text{受取手形}}{\text{総売上高 (受託 + 買付 + 兼業)} ※1} \times 365 \quad (\text{日})$
荷主前渡金 回転期間	$\frac{\text{荷主前渡金}}{\text{当期発生高 (卸売 + 兼業)}} \times 365 \quad (\text{日})$
買掛債務 回転期間	$\frac{\text{買掛金} + \text{支払手形}}{\text{仕入高 (買付 + 兼業)} ※2} \times 365 \quad (\text{日})$
受託販売未払 金回転期間	$\frac{\text{受託販売未払金}}{\text{売上高 (受託)}} \times 365 \quad (\text{日})$

※1 令和5年度の総売上高からは自己買受物品売上高（兼業）を控除している。

※2 令和5年度の仕入高からは自己買受物品売上原価（兼業）を控除している。

内	容
	資金繰りの状況と支払能力を表す基本的な比率で、比率が大きいほど返済能力があり、経営の安定性を示す。
	流動比率とともに短期的な支払い能力を示す。
	支払手段の保有高が売上の何日分あるかを示す。
	基本的な企業の財務構造の良否を判定するための比率であり、長期支払い能力を示す。 100%以下であることが望ましい。
	総資本が年間何回転しているかを示す。
	借入金に対する依存度を示す。
	実質的な金利負担がどのくらいかを示す。低いほど良い。
	自己資本が総資本の何%あるかを示す。50%以上あることが望ましい。
	商品在庫が仕入の何日分あるかを示す。
	売掛債権が売上の何日分あるかを示し、売上の平均回収期間がわかる。
	前渡金を支出してから何日目に回収しているかを示し、前渡金の平均回収期間がわかる。
	買掛債務が仕入の何日分あるかを示し、仕入の平均支払期間がわかる。
	受託品を販売してから何日目に支払っているかを示し、受託品の平均支払期間がわかる。